

# Newsletter

東京歯科大学市川総合病院 角膜センター・アイバンク  
〒272-8513 千葉県市川市菅野5丁目11-13  
TEL: 047-324-5800 FAX: 047-324-8590  
E-mail: info@eyebank.or.jp  
www.eyebank.or.jp



2018年10月21日(日) 第21回ドナーファミリーの集い® 開催報告 於 イイノホール&カンファレンスセンター(東京都千代田区)

～星空に想いを馳せて～  
プラネタリウム

皆様と共に  
星空に祈ります

角膜センター・アイバンクより

## 第21回 ドナーファミリーの集い

主催 東京歯科大学市川総合病院 角膜センター・アイバンク 共催代表 慶應義塾大学病院 眼科銀行  
共催 (一財)北海道アイバンク、(公財)山形県アイバンク、(公財)静岡県アイバンク、(公財)兵庫県アイバンク、(公財)熊本県移植医療推進財団、京都府立医大アイバンク、(公財)兵庫アイバンク、東京大学医学部附属病院 組織バンク、  
(一社)日本スキンバンクネットワーク、福岡大学病院 眼科バンク、京都府立医大アイバンク、北里大学病院 骨バンク

Johnson & Johnson VISION



【主催】 東京歯科大学市川総合病院 角膜センター・アイバンク

【共催】 慶應義塾大学病院 眼科銀行

(一財)北海道アイバンク、(公財)山形県アイバンク、(公財)静岡県アイバンク、(公財)兵庫県アイバンク、(公財)熊本県移植医療推進財団、京都府立医大アイバンク、(公財)兵庫アイバンク、東京大学医学部附属病院 組織バンク、北里大学病院 骨バンク、福岡大学病院 眼科バンク、(一社)日本スキンバンクネットワーク

【後援】 厚生労働省、日本角膜学会、(一社)日本再生医療学会、(一社)日本抗加齢医学会、(公社)東京都眼科医会、東京麻布ライオンズクラブ、行徳ライオンズクラブ、市川パインツリーライオンズクラブ、(福)日本点字図書館、東京視覚障害者ランニングクラブ、(公財)日本テレビ小鳩文化事業団、(公社)日本臓器移植ネットワーク

【協力】 児童劇団「大きな夢」、(協)日本俳優連合、関東学生陸上競技連盟、(有)大平技研

# 主催者挨拶 角膜センター長 島崎潤

今年もドナーファミリーの集い®がイイノホールで開催され、多くのドナーファミリー、患者様、アイバンク関係者、眼科医、そしてサポーターの方々がお集まりくださいました。今年は、例年午後に行われていましたラン・フォー・ビジョン®が開催されず、初めて単独でドナーファミリーの集い®が開催されましたが、例年を上回るご参加とサポートをいただきました。まずは主催者を代表して、菅貞郎東京歯科大学市川総合病院副院長のご挨拶で始まり、ご支援をいただいている厚生労働省移植医療対策推進室の兵頭利之様、ライオンズクラブ国際協会330-A地区ガバナーの今井文彦様のスピーチを頂戴しました。続いて披露された「こえ」コーナーでのドナーファミリーや患者様のお話し、ビデオレター、そしてお手紙の朗読はいつもながら感動的で、角膜移植に携わるものとして胸が熱くなりました。この会には東京歯科大学、慶應義塾大学を始め多くの眼科医も参加しました。移植医を代表して壇上に登ってくれた東京医科大学から国内留学中の中川迅医師の話は、医師としての使命感と情熱が溢れた素晴らしいものでした。

会の半ばで今年の企画として、大平技研の大平貴之様によるプラネタリウムの上映が行われました。部屋の中央に置かれた投影機を見て期待が高まりましたが、凹凸のある

会場の天井や壁面にうまく星空が映るのか不安もありました。しかしながら上映が始まるとあたりは一面の星空で、見上げる参加者の顔や体にまで星々が輝いていました。宇宙の広大さから見れば、ほんの片隅にしか過ぎない地球での出来事はごくごく小さなものに思えます。宇宙とアイバンク事業の間には繋がりが無いように思われますが、このちっぽけな星に住む一人ひとりの思いの重要性は、宇宙の神々しい姿を前にすると逆に強く胸に迫る思いがしました。

会の最後には、児童劇団『大きな夢』の子どもたちによる「ぼくのこころもありがとう」の合唱があり、清々しい気分のなか終了を迎えました。単独の開催ではありましたが、ドナーファミリーと患者様、医療関係者とサポートして下さる皆様が一堂に会する機会を持つことの重要性を再認識することができました。ここに、参加して下さった方々、スポンサーの企業団体の方々、いつも素晴らしい司会をして下さる木幡美子様、および運営に努力してくれたスタッフに心より感謝の意を表します。



東京麻布ライオンズクラブ  
若月 小百合様



東京歯科大学市川総合病院  
角膜センター長  
島崎潤



司会  
(株)フジテレビジョン  
総務局放送文化推進センター  
CSR推進室  
木幡美子様



厚生労働省  
健康局難病対策課  
移植医療対策推進室  
室長補佐  
兵頭利之様



ライオンズクラブ  
国際協会330-A地区  
ガバナー  
今井文彦様



東京歯科大学市川総合病院  
副院長  
菅貞郎



東京歯科大学市川総合病院  
眼科  
中川迅

## 「こえ」の朗読



日本俳優連合  
多岐川 まり子様 池水通洋様

## 作品展

会場入り口のホワイエに、移植患者様・ドナー・ドナーファミリーの作品を展示致しました。絵画、写真、七宝焼き等々、光のラリーに関わられた方々から寄せられた作品はどれも秀逸で、ご来場の方々は、小さいながら見応えのあるギャラリーに見入っていました。

また、ご後援・ご共催いただいた団体・バンクや、一部ご協賛企業のパンフレットやポスターも展示致しました。



## 参加者の感想



移植を受けた方々の生き生きしている姿や、医療従事者の熱い思いにとっても感動しました。  
(ドナーファミリー)

前からプラネタリウムを見てみたい！と思っていたので、あんなに素晴らしい星空を見られてうれしかった。しかもドナーファミリーがいらっしゃる同じ空間で、星空に向かって「ドナーさん、ありがとう！」って言えたのが感激でした。  
(レシピエント)



今後とも改めて社会貢献出来る仕事に関わっている事を誇りに活動して参りますので、ご支援の程宜しくお願い致します。(サポーター)

皆様の思いのこもったあたたかい会だったと感じました。今後も皆で協力し高めあえる仲間でありたいと思います。(共催バンク)



## 児童劇団「大きな夢」による合唱

プラネタリウムが映し出す星空が消えた後、明るくなった会場に♪ぼくのこころもありがとう♪が響き、会場中が子ども達の清らかな歌声に聞きほれました。



# プラネタリウム ～星空に想いを馳せて～

## 会場に広がる満天の星

企画コーナーでは、世界的に活躍するプラネタリウム・クリエイターの大平貴之様にご登場いただきました。真っ暗になった会場で目を閉じ、大平様の合図により目を開けた瞬間、「わあ～」という歓声・どよめきとともに、そこには約1000万個の満天の星が広がっていました。

大平技研が開発したMEGASTAR-IIによって映し出された宇宙。そこに浮かぶ巨大な光の円盤、銀河系を突き抜け、デジタル映像システムによる宇宙の彼方への旅へと続きました。私たちは、観測可能な138億光年の宇宙の全体像を体験し、宇宙のそこはかとない大きさを感じるとともに、その中で日常で起こる悩み・苦しみもとても小さいことのように感じました。そして、大平様は皆さんに、さらに次のように語りかけました。

「一人一人の世界も、また私たちの抱えている日常の一つ一つの事もこの宇宙の大きさと同じくらい、尊いと改めて感じます。宇宙の中に存在する私達が、これからどんな未来を創っていくのか、と考えたとき、地球上では良い事ばかりではなく、環境、他いろいろな問題があり、人類の未来は時には危うく感じることもあります。が、そんなときだからこそ、夜空を見上げてみましょう。そして今こそ、宇宙を見上げ、星空を見上げ、宇宙の中に存在する、夢ではない、まぎれもない現実を見つめ、私達自身が何者であるか、を考える時ではないでしょうか」と。

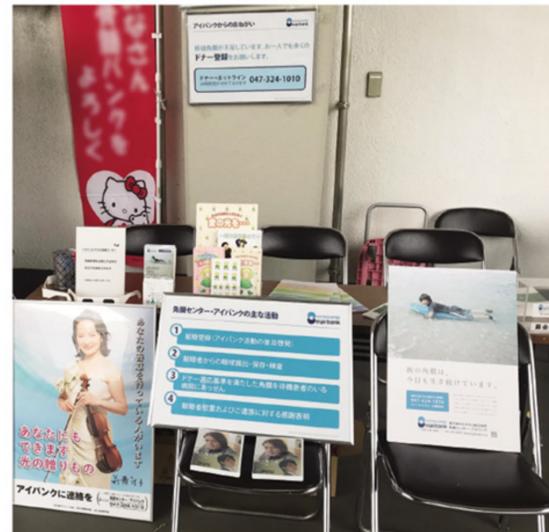


## アイバンクよりメッセージ

続いて、私共アイバンクから暗い星空の中にきれいな明るいシャボン玉と一緒にメッセージをお送り致しました。アイバンクは「移植を待っている患者様」「ご支援くださるサポーター」「移植に関わる医療スタッフ」そして「ご提供くださるドナー」と「その意思を決断くださるドナーファミリー」それぞれの立場の方が一つの輪になって初めて成り立つ医療であること、そのどれか一つも欠けることなく動くことが大切であること、当たり前のことのように思えるかもしれませんが、もう一度、夜空を見上げてその想いを会場の皆様と共有したかったのです。「見上げてごらん、夜の星を」のBGMと共に皆様にはそれぞれの想いを星空に馳せていただき、そんな時間を少しでももっていただければという私たちの願いを込めました。アイバンクに込める思いと皆様への感謝の言葉が星空に映し出された時、改めてこの集いを共有できた喜びが込みあがりました。皆様には、しばし昼間の都心にいることを忘れていただけたでしょうか。



グリーンリボンは世界的な移植医療のシンボル。10月8日（祝）に駒沢オリンピック公園にて行われたこのラン・イベントに、当センターも協力団体として出展しました。今年から休止となったラン・フォー・ビジョン®に代わるものとしてご案内させていただき、会場ではリレー競技などに汗を流したランナーにお会いすることができました。（※パンフレットの発送は過去3年のRFV参加者のみ）



## 献眼をするには

万一ご不幸があった場合は、下記のドナー・ホットラインまでご連絡ください。角膜センター・アイバンクから、医師を派遣させていただきます。献眼登録をしていない方、または他のアイバンクに献眼登録をしている方、近視、乱視、高齢の方でも献眼していただくことができます。ご提供いただきました角膜は、角膜センター・アイバンクの医学基準にのっとり、当アイバンクに登録されている患者さんに公平・公正にあっせんされます。

**ドナー・ホットライン 047-324-1010** 24時間受け付けております

### よくある献眼Q&A

Q 献眼に年齢制限はありますか？

A 角膜は、160年～180年間、その機能を保つと言われております。献眼に際し、年齢制限はありません。

Q 白内障の手術を受けましたが、それでも提供は可能ですか？

A 白内障や緑内障などの病気や、その治療のための手術を受けた場合でも、角膜が透明であれば提供していただけます。どなたから提供された場合でも、提供後に精密な検査を行い、移植に使用可能かを判断させていただきます。

Q 癌を患っていますが、提供できるのでしょうか？

A 基本的には可能です。ただ、眼内への癌転移がある場合や、白血病、悪性リンパ腫などの血液腫瘍の場合はご提供いただけません。

Q 死後、何時間提供が可能ですか？

A お亡くなりになられた後、12時間以内は提供が可能です。眼が閉じている、気温が低いなどといった条件が整えば、24時間後くらいまで提供可能な場合があります。お体の状態を確認したうえで判断させていただきます。

Q 親族優先提供とはなんですか？

A 改正臓器移植法の施行に伴い、平成22年(2010年)1月17日より、臓器を提供する意思表示に併せて、親族に対し臓器を優先的に提供する意思を書面により表示することができるようになりました。ご提供時に要件を満たしている必要がありますので、詳しくはお問い合わせください。

Q 献眼登録の申込み方法は？

A 登録前に、ご家族ご親族としっかり話し合い、十分に意思確認をした上、同意を得てください。その後、角膜センター・アイバンクまで電話(047-324-5800)またはホームページの「資料請求」より、お問い合わせください。

【協賛】 次回の開催日 第22回「ドナーファミリーの集い®」※招待制

2019年10月27日(日)14:00~16:00 予定 会場: イイノホール&カンファレンスセンター

【協賛】

Johnson & Johnson VISION



長尾慎一税理士事務所



きれい  
元気  
をつくるもの



南八幡眼科



米山眼科



今日を愛する  
LION



大切な想いを次世代に継ぐ  
昭和セレモニー

アステラス製薬株式会社 / 興和株式会社 / NPO 法人グリーフケア支援協会  
株式会社コーナン・メディカル / 医療法人社団 Vision Quest Japan 吉田眼科

はながい眼科 / 大塚製薬株式会社 / 千寿製薬株式会社 / 株式会社イナミ / 医療法人社団 玉城眼科 / 株式会社オグラ / 株式会社メディカル葵出版 / HOYA株式会社  
医療法人誠療会 尾谷眼科クリニック / ワシエスメディカル株式会社 / 理科研株式会社 / 株式会社メディプロデュース / 医療法人秀緑会 高山眼科 / ロート製薬株式会社  
医療法人如水会 鈴木眼科吉小路 / 熊本県ライオンズクラブ 献眼献腎献血運動協力会 / 株式会社モリア・ジャパン / 株式会社エスアールエル / わかもと製薬株式会社  
アルコンファーマ株式会社 / 株式会社フォーシーズ / 日本アルコン株式会社 / 医療法人社団盛仁会 篠崎駅前高橋眼科 / コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

ご支援に心より御礼申し上げます。